

活動の内省と目的設定#2

名前：ヘザー・オコネル 学校名：キング小学校 グループ名：キンック
活動日：2016年9月30日（金） 活動時間：40分

キング小学校の食堂にあるオフィスで2回目のレッスンが行われました。今回、子供達のカタカナでの名前を教えました。しかし、その前に4つの命令を紹介しました。「立ってください」「座ってください」「手をあげてください」「静かにしてください」という命令を教えました。私たちは英語の翻訳を言った後で、日本語で命令しました。子供たちが日本語で繰り返しました。テストとして、私たちは命令を言って、子供たちは命令通りに動きました。そのアクティビティは10分ぐらいでした。次はカタカナでの名前のカードを配りました。黒板や白紙に子供たちは名前の書き方を練習しました。練習が終わったら、クレヨンやペンで名前のカードに色をつけました。そのアクティビティは30分ぐらいでした。アクティビティをしながら、私たちは子供たちの質問を答えました。特に「日本語で○○は何というの？」という質問を答えました。

うまく行ったことが主に2つあります。1つ目は子供たちが日本語で指示したことを従いました。そして、子供は友達に日本語で指示しました。私は驚きました。2つ目は子供たちが積極的で参加しました。先週と比べたら、子供たちはもっと楽しそうな顔を見せました。レッスンの後でオフィスを出なくてもっと質問をした子供たちがいました。私は子供たちの興味を感じました。

うまく行かなかったことがあります。私は命令を教えて、指示しても、オフィスがうるさくなりました。子供たちは一人で名前を練習して、色をつけたので、自分のペースによって終わった時が異なりました。そして、私たちレッスンの前に子供達の名前のカードを作りましたが、名前が分からなかった子供がいたので、レッスン中に名前のカードを作らなくてはいけませんでした。私たちのグループに2人がカードを作っていたので、子供たちを助けられたのは1人だけでした。次回、レッスンの前に全部のレッスン資料を作って、持ってきます。それに、火薬終わった子供たちが迷惑にならないように、私たちは他のボーナスアクティビティを用意します。

今回のレッスンをSLアウトカムの2番「Service and Social Responsibility」に結びました。子供たちはうるさくて、たくさん質問をしました。私は一人の子供の質問を答えながら、他の子供に質問されました。私は順番に子供たちを答えましたが、順番を待たなかった子供を認めないと、その子が無視されたと思うかもしれないので、私は「ちょっと待って、この子の質問を答えています」と説明しました。私がしたような行動で、割り込んだ子供が自分の礼儀正しくない行動を分かるようになったかもしれませんでした。